

令和4年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ヴァナゾール医療センター医療機材整備計画」 供与式の実施

令和5年8月30日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ヴァナゾール医療センター医療機材整備計画」（供与限度額：81,327米ドル(8,783,316円)）の供与式が、ヴァナゾール医療センターにおいて行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、クリスティーナ・サルキシャン「アズナブール財団」CEO、アラム・ハチャトリャン・ロリ州知事、アルメン・ナザリャン・アルメニア保健省次官、アルカジ・ペレシヤン・ヴァナゾール市長、ヴァハン・ムクルチャン・ヴァナゾール医療センター長等が出席し、その他同センター職員や行政職員を含む関係者約50名が参加しました。

本計画は、ロリ州にあるヴァナゾール医療センターに病理検査用機器一式を整備することで、同センターの病理検査の体制強化を図り、同州をはじめ近隣州における医療水準を向上させることを目的に実施されました。この結果、年間約5,000人の患者が裨益します。



福島大使のスピーチ



テープカット



設置された医療機器



センター長によるツアー

報道: <https://shamshyan.com/hy/article/2023/08/30/1245290>
<https://armeniasputnik.am/20230830/aznavur-himnadrami-hhum-tshapvoniaji-despanatan-shnvorhiv-vanadzvorum-labvoratvoria-e-bacvel-65098509.html>
https://www.aravot.am/2023/08/30/1364955/?fbclid=IwAR0yXoYJ6ktbfRIRx79949apkdrk9nhWTvtzIIlBO2tadUIHoQ_E7CSQF-IM